

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 4 区分
【発行日】 平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)

【公開番号】 特開 2000-311369 (P2000-311369A)
【公開日】 平成 12 年 11 月 7 日 (2000.11.7)
【出願番号】 特願 平 11-120128
【国際特許分類第 7 版】
G 1 1 B 7/095
【F I】
G 1 1 B 7/095 G

【手続補正書】
【提出日】 平成 17 年 5 月 9 日 (2005.5.9)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 特許請求の範囲
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

トラックが蛇行して配されるディスクと、該ディスクに光スポットを形成するヘッドとの間の傾きを補正する傾き補正装置であって、
前記蛇行の変動の中心を移動する前記光スポットで反射された光を受光する光検知器と
、
前記光検知器から出力されたウォブル信号の振幅を指標として、該指標が極値に近づくように前記ディスクと前記ヘッドとの間の相対的な傾きを制御する傾き制御手段とを備える傾き補正装置。

【請求項 2】
前記傾き制御手段は、前記指標が所定のしきい値を越えない場合に、当該指標に基づく傾き制御を行なうように構成されてなる請求項 1 に記載の傾き補正装置。

【請求項 3】
前記傾き制御手段は、
複数の前記指標を平均化した値に基づいて前記傾きの制御を行なうように構成され、
前記指標は、前記ディスクに記録された情報の記録単位ごとに得られる指標であること
を特徴とする請求項 1 または 2 に記載の傾き補正装置。

【請求項 4】
前記傾き制御手段は、所定の時間内に得られた複数の前記指標を平均化して得られる平均値に基づいて前記傾きの制御を行なうように構成されてなる請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の傾き補正装置。

【請求項 5】
前記傾き制御手段は、
前記指標を第 1 の指標とし、
前記光スポットが前記トラックを横切る際に得られる前記差信号の振幅を第 2 の指標とし、

前記第 1 の指標または前記第 2 の指標に基づいて前記傾きの制御を行なうように構成されてなる請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の傾き補正装置。

【請求項 6】
請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の傾き補正装置を備えるディスク装置。

【請求項 7】

トラックが蛇行して配されるディスクと、該ディスクに光スポットを形成するヘッドとの間の傾きを補正する傾き補正方法であって、

前記蛇行の変動の中心を移動する前記光スポットで反射された光を受光してウォブル信号を出力し、

前記ウォブル信号の振幅を指標として、該指標が極値に近づくように前記ディスクと前記ヘッドとの間の相対的な傾きを制御する傾き補正方法。